

広島県感染症発生動向月報

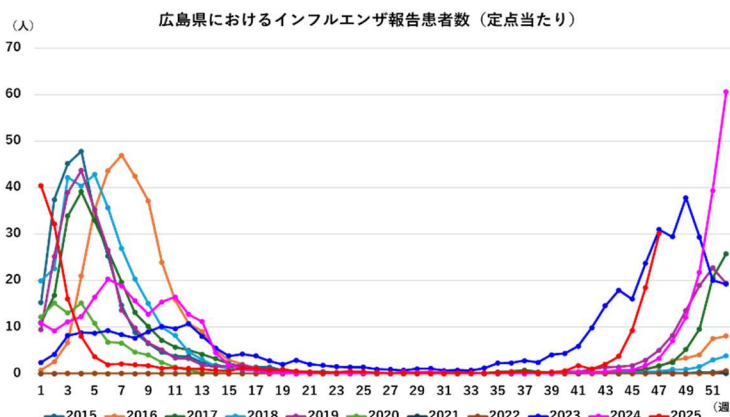
[広島県感染症予防研究調査会]
(令和7年 11月解析分)

1 今月のトピックス

■ インフルエンザが流行拡大しています。感染予防対策の徹底を！！

季節性インフルエンザは流行性があり、いったん流行が始まると短期間に多くの人へ感染が広がる傾向があります。全国では第39週（9月22日～9月28日）にインフルエンザの定点当たり報告数が1を上回り、流行入り、県内においても第41週（10月6日～10月12日）に流行入り、45週（11月3日から11月9日）には注意報（定点当たり報告数10以上）を、47週（11月17日から11月23日）には警報（定点当たり報告数30以上）を発令しています。今シーズンは、1年を通して流行した2023年シーズンに次いで過去10年間で2番目に早い警報発令となります。

この先も、空気が乾燥して気道粘膜の防御機能が低下するなど、インフルエンザにかかりやすい時期が続きます。冬季は季節性インフルエンザと新型コロナウイルス感染症の同時流行が懸念されるため、下記の対策を十分に行い、感染予防対策を徹底しましょう。



■ インフルエンザを予防する有効な方法

- ・ 流行前のワクチン接種
- ・ 外出後の手洗い等
- ・ 適度な湿度（50～60％）の保持
- ・ 十分な休養とバランスのとれた栄養摂取
- ・ 人混みや繁華街への外出を控える
- ・ 室内ではこまめに換気をする

■ 12月1日は「世界エイズデー」

WHO（世界保健機関）が1988年に、エイズのまん延防止や患者・感染者に対する差別偏見の解消を目的として、12月1日を「世界エイズデー」と定め、エイズに関する啓発活動などの実施を提唱しました。

運動のシンボルであるレッドリボンには、エイズに関して偏見をもっていない、エイズとともに生きる人々を差別しないというメッセージが込められています。

広島県においても、12月1日を中心に啓発活動などを実施しており、昨年に引き続き12月6日に広島市内でレッドリボンキャンペーンを実施します。

また、県ホームページから検査の日程等も確認できますので、検査を希望する場合は、事前に電話予約のうえ、受検ください。世界エイズデーに合わせ、検査時間を延長する保健所などもあります。



広島県 エイズ検査

検索

2 疾患別定点情報 【速報値】

(1) 定点把握(週報)五類感染症

令和7年10月分(令和7年10月6日～令和7年11月2日:4週間分)

No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号	No	疾患名	月間発生数	定点当たり	過去5年平均	発生記号
1	急性呼吸器感染症(ARI) ※2	19,788	52.63	-	→	11	突発性発しん	43	0.19	0.29	↗
2	インフルエンザ ※3	790	2.10	0.27	↑	12	ヘルパンギーナ	40	0.18	0.54	↓
3	新型コロナウイルス感染症(covid-19) ※1	1,028	2.73	-	↓	13	流行性耳下腺炎	8	0.04	0.03	
4	RSウイルス感染症	405	1.78	1.46	↗	14	急性出血性結膜炎	2	0.03	0.01	
5	咽頭結膜熱	74	0.32	0.25	→	15	流行性角結膜炎	110	1.45	0.30	↗
6	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	436	1.91	0.72	↗	16	細菌性髄膜炎	0	0.00	0.01	
7	感染性胃腸炎	784	3.44	2.37	↘	17	無菌性髄膜炎	4	0.05	0.02	
8	水痘	39	0.17	0.07	↗	18	マイコプラズマ肺炎	188	2.35	0.35	↑
9	手足口病	91	0.40	2.04	→	19	クラミジア肺炎 ※4	0	0.00	0.00	
10	伝染性紅斑	205	0.90	0.00	↘	20	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0.00	0.00	

※1 R5年第19週(5/8～)から五類に変更。※2 咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性の症状であり、医師が感染症を疑う外来症例に該当する患者数を計上(他の定点把握疾患として報告されている患者数(No.2～6及び12)を含む) ※3 鳥インフルエンザを除く ※4 オウム病を除く

(2) 定点把握(月報)五類感染症

令和7年10月分(10月1日～10月31日)

No	疾 患 名	月間 発生数	定点 当たり	過去5年 平均	発生 記号	No	疾 患 名	月間 発生数	定点 当たり	過去5年 平均	発生 記号
21	性器クラミジア感染症	63	2.86	3.58	↘	25	メチリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	90	4.50	3.28	↗
22	性器ヘルペスウイルス感染症	22	1.00	0.91	↘	26	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0	0.00	0.08	
23	尖圭コンジローマ	10	0.45	0.68	↘	27	薬剤耐性緑膿菌感染症	1	0.05	0.04	
24	淋菌感染症	23	1.05	1.18	↘	※「過去5年平均」:過去5年間の同時期平均(定点当たり) ※ 報告数が少数(10件程度)の場合は発生記号は記載していません。					

急増減疾患!! (定点当たり前月比2倍以上増減)

○急増疾患	インフルエンザ	(0.34 → 2.10)
	マイコプラズマ肺炎	(1.08 → 2.35)
○急減疾患	新型コロナウイルス感染症(covid-19)	(7.68 → 2.73)
	ヘルパンギーナ	(0.39 → 0.18)

発生記号(前月と比較)

急増減	↑	↓	1:2以上の増減
増減	↗	↘	1:1.5～2の増減
微増減	↗	↘	1:1.1～1.5の増減
横ばい	→		ほとんど増減なし

定点把握対象の五類感染症(週報対象20疾患、月報対象7疾患)について、県内155の定点医療機関からの報告を集計し、作成しています。

	内科定点	小児科定点	眼科定点	STD定点	基幹定点	合計
対象疾病No.	1、2、3	1～13	14、15	21～24	16～20、25～27	
定点数	37	57	19	22	20	155

3 一類・二類・三類・四類感染症及び全数把握五類等感染症発生状況

【速報値】

類別	報告数	疾患名(管轄保健所)
一類	0	発生なし
二類	29	結核(29)〔西部保健所(3)、西部東保健所(2)、東部保健所(9)、北部保健所(1)、広島市保健所(5)、呉市保健所(2)、福山市保健所(7)〕
三類	12	腸管出血性大腸菌感染症(12)〔西部保健所(1)、西部東保健所(2)、広島市保健所(2)、呉市保健所(1)、福山市保健所(6)〕
四類	27	レジオネラ症(9)〔西部保健所(2)、西部東保健所(1)、東部保健所(1)、広島市保健所(3)、呉市保健所(1)、福山市保健所(1)〕 日本紅斑熱(17)〔西部保健所(2)、東部保健所(7)、呉市保健所(1)、福山市保健所(7)〕 日本脳炎(1)〔福山市保健所(1)〕
五類	254	アメーバ赤痢(1)〔西部東保健所(1)〕 カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症(2)〔福山市保健所(2)〕 急性脳炎(2)〔広島市保健所(2)〕 劇症型溶血性レンサ球菌感染症(2)〔広島市保健所(1)、福山市保健所(1)〕 後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)(2)〔広島市保健所(1)、福山市保健所(1)〕 侵襲性肺炎球菌感染症(2)〔広島市保健所(2)〕 水痘(入院例)(1)〔西部保健所(1)〕 播種性クリプトコックス症(1)〔東部保健所(1)〕 梅毒(19)〔西部東保健所(1)、東部保健所(2)、広島市保健所(11)、福山市保健所(5)〕 百日咳(222)〔西部保健所(19)、西部東保健所(69)、東部保健所(7)、広島市保健所(62)、呉市保健所(16)、福山市保健所(49)〕

一類・二類・三類・四類・五類(全数把握対象)感染症発生状況 (広島県)														
2025年10月31日 現在														
分類	感染症名	発 生 件 数												
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
二類	結核	27	32	25	22	29	26	29	31	24	29			274
	小 計	27	32	25	22	29	26	29	31	24	29	0	0	274
三類	コレラ	0	3	0	0	0	0	0	0	0	0			3
	細菌性赤痢	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0			1
	腸管出血性大腸菌感染症	3	4	4	2	9	19	19	21	8	12			101
	腸チフス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
	パラチフス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
	小 計	3	7	5	2	9	19	19	21	8	12	0	0	105
四類	E型肝炎	1	0	1	1	0	0	0	1	1	0			5
	A型肝炎	0	1	2	1	2	0	0	1	1	0			8
	エムボックス	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
	つつが虫病	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0			2
	デング熱	1	1	1	0	0	0	0	1	0	0			4
	重症熱性血小板減少症候群	0	0	0	0	1	0	4	1	0	0			6
	日本紅斑熱	0	0	0	0	18	10	3	7	7	17			62
	日本脳炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1			1
	マラリア	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
	レジオネラ症	6	2	5	3	7	17	4	4	5	9			62
	レプトスピラ症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
	小 計	8	4	9	6	28	27	11	15	15	27	0	0	150
五類全数	ア메ーバ赤痢	0	1	2	0	0	1	0	0	1	1			6
	ウイルス性肝炎(A型及びE型を除く。)	0	0	0	1	4	1	1	0	0	0			7
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	5	5	3	1	0	1	0	2	0	2			19
	急性弛緩性麻痺	0	1	0	0	0	0	1	0	0	0			2
	急性脳炎	6	0	2	2	0	1	3	0	0	2			16
	クロイツフェルト・ヤコブ病	1	0	0	1	0	0	1	2	0	0			5
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	6	1	4	0	4	4	1	0	3	2			25
	後天性免疫不全症候群	0	2	1	1	0	2	0	1	2	2			11
	ジアルジア症	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	3	2	1	1	1	4	0	0	0	0			12
	侵襲性髄膜炎菌感染症	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0			1
	侵襲性肺炎球菌感染症	8	4	6	7	6	2	4	0	0	2			39
	水痘(入院例)	0	1	0	1	1	0	1	0	0	1			5
	破傷風	0	0	1	0	1	0	0	0	0	0			2
	梅毒	22	17	17	20	27	18	22	25	32	19			219
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0			2
	百日咳	15	11	35	204	352	552	683	560	351	222			2,985
	風しん	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0			0
	播種性クリプトコックス症	1	0	0	0	1	0	0	0	0	1			3
	麻しん	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0			2
	小 計	68	45	73	239	397	586	719	591	389	254	0	0	3,361
合 計		106	88	112	269	463	658	778	658	436	322	0	0	3,890

※ 一類～三類感染症は、疑似症患者及び無症状病原体保有者を含む。

【類別感染症名】

一類：	エボラ出血熱、クリミア・コンゴ出血熱、痘そう、南米出血熱、ペスト、マールブルグ病、ラッサ熱
二類：	急性灰白髄炎(ポリオ)、結核、ジフテリア、重症急性呼吸器症候群、中東呼吸器症候群、鳥インフルエンザ(H5N1)、鳥インフルエンザ(H7N9)
三類：	コレラ、細菌性赤痢、腸管出血性大腸菌感染症、腸チフス、パラチフス
四類：	E型肝炎、ウエストナイル熱、A型肝炎、エキノコックス症、黄熱、オウム病、オムスク出血熱、回帰熱、キャサヌル森林病、Q熱、狂犬病、コクシジオイデス症、エムボックス(サル痘)、ジカウイルス感染症、重症熱性血小板減少症候群、腎症候性出血熱、西部ウマ脳炎、ダニ媒介脳炎、炭疽、チクングニア熱、つつが虫病、デング熱、東部ウマ脳炎、鳥インフルエンザ(鳥インフルエンザ(H5N1及びH7N9)を除く)、ニバウイルス感染症、日本紅斑熱、日本脳炎、ハンタウイルス肺症候群、Bウイルス病、鼻疽、ブルセラ症、ベネズエラウマ脳炎、ヘンドラウイルス感染症、発しんチフス、ボツリヌス症、マラリア、野兔病、ライム病、リッサウイルス感染症、リフトバレー熱、類鼻疽、レジオネラ症、レプトスピラ症、ロッキー山紅斑熱
五類全数：	アメーバ赤痢、ウイルス性肝炎(E型肝炎及びA型肝炎を除く)、カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症、急性脳炎、クリプトスポリジウム症、クロイツフェルト・ヤコブ病、劇症型溶血性レンサ球菌感染症、後天性免疫不全症候群、ジアルジア症、侵襲性インフルエンザ菌感染症、侵襲性髄膜炎菌感染症、侵襲性肺炎球菌感染症、水痘(入院例に限る)、先天性風しん症候群、梅毒、播種性クリプトコックス症、破傷風、バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症、バンコマイシン耐性腸球菌感染症、風しん、麻しん、薬剤耐性アシネトバクター感染症、百日咳、急性弛緩性麻痺

病原体（ウイルス）検出状況（県立総合技術研究所保健環境センター検査分）

検体採取期間：令和7年10月1日～11月19日

資料作成：令和7年11月19日

県立総合技術研究所 保健環境センター 保健研究部

1 県内医療機関からの受付検体数

患者数	検体数	陽性検体数	陰性検体数	検査中
190	213	137	71	5

2 四類感染症からの検出状況

診断名	検出ウイルス・リケッチア名	患者数	検体数	検体種類	検体採取年月	年齢	発生地区(保健所)
ダニ類媒介感染症疑い	日本紅斑熱リケッチア	5	9	血液, 痂皮, 皮膚組織	R7. 10月	60代～80代	西部, 西部東, 東部, 福山市
重症熱性血小板減少症候群 (SFTS) 疑い	日本紅斑熱リケッチア	2	4	血液, 痂皮	R7. 10月	60代	西部東, 東部
つつが虫病疑い	つつが虫病リケッチア	1	2	血液, 痂皮	R7. 11月	90代	西部
	日本紅斑熱リケッチア	1	1	血液	R7. 10月	60代	西部
日本紅斑熱疑い	日本紅斑熱リケッチア	11	16	血液, 痂皮, 皮膚組織	R7. 10月～11月	40代, 70代～90代	東部, 東部(福山), 福山市呉市

3 五類感染症 急性呼吸器感染症 (ARI) サーベイランスの検出状況（別紙）

4 五類感染症からの検出状況（急性呼吸器感染症 (ARI) として提出された検体の中に含まれていた患者の検査結果の再掲を含む）

診断名	分離・検出ウイルス名	患者数	検体数	検体種類	検体採取年月	年齢	発生地区(保健所)
新型コロナウイルス感染症	新型コロナウイルス (SARS-CoV-2)	24	24	鼻咽頭, 咽頭	R7. 10月～11月	0～83	西部(広島), 西部東, 東部, 東部(福山)
	新型コロナウイルス (SARS-CoV-2) +ライノウイルス	1	1	鼻咽頭	R7. 10月	0	西部東
	AH3型インフルエンザウイルス	1	1	鼻咽頭	R7. 10月	51	西部(広島)
インフルエンザ	AH1pdm09型インフルエンザウイルス	1	1	咽頭	R7. 10月	21	東部
	AH3型インフルエンザウイルス	17	17	鼻咽頭, 咽頭	R7. 10月～11月	6～67	西部(広島), 西部東, 東部, 東部(福山)
	AH3型インフルエンザウイルス +ライノウイルス	1	1	鼻咽頭	R7. 10月	2	西部東
	AH3型インフルエンザウイルス +パラインフルエンザウイルス4型	1	1	鼻咽頭	R7. 11月	5	西部東
	AH3型インフルエンザウイルス+ライノ/エンテロウイルス(鑑別 予定)+新型コロナウイルス+パラインフルエンザウイルス4型 +パラインフルエンザウイルス4型	1	1	鼻咽頭	R7. 11月	4	西部東
	ライノ/エンテロウイルス(鑑別予定)	1	1	咽頭	R7. 11月	11	東部
	新型コロナウイルス (SARS-CoV-2)	1	1	鼻咽頭	R7. 10月	51	西部(広島)
RSウイルス感染症	RSウイルス NT	3	3	鼻咽頭	R7. 11月	0～2	西部東
	RSウイルス A型	2	2	鼻咽頭	R7. 10月	1, 2	西部東
	RSウイルス A型+ライノ/エンテロウイルス +新型コロナウイルス	1	1	鼻咽頭	R7. 10月	2	西部東
	RSウイルス B型	1	1	鼻咽頭	R7. 10月	1	西部東
	RSウイルス B型+アデノウイルスNT	1	1	鼻咽頭	R7. 10月	2	西部東
伝染性紅斑	ライノ/エンテロウイルス(鑑別予定)	1	1	鼻咽頭	R7. 11月	7	東部(福山)

◆年間を通じた県内のウイルス検出情報（ひろしまCDCホームページ内 月別・疾患別ウイルス検出情報）
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/ari.html>

◆広島県内の急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスの流行状況（ひろしまCDCホームページ内）
<https://www.pref.hiroshima.lg.jp/site/hcdc/ari.html>

6 保健所別検査依頼受付状況（検体採取期間：令和7年10月1日～令和7年11月19日）

保健所地区	検体数	疾 患 名 （検体数）
西部	4	ダニ類媒介感染症疑い(4)
西部(広島)	34	急性呼吸器感染症(ARI)(34)
西部(呉)	0	
西部東	62	ダニ類媒介感染症疑い(4), 急性呼吸器感染症(ARI)(55), インフルエンザ(2), 感染性胃腸炎(1)
東部	65	ダニ類媒介感染症疑い(16), 麻しん(成人)疑い(3), 急性脳炎(5), 急性呼吸器感染症(ARI)(31), 新型コロナウイルス感染症(5), インフルエンザ(5)
東部(福山)	33	ダニ類媒介感染症疑い(4), 急性呼吸器感染症(ARI)(29)
北部	0	
福山市	12	ダニ類媒介感染症疑い(12)
呉市	3	ダニ類媒介感染症疑い(3)

急性呼吸器感染症(ARI)サーベイランスで検出されたウイルス（2025年10月上旬～11月中旬）

報告週	第40週	第41週	第42週	第43週	第44週	第45週	第46週
	9/29～10/5	10/6～10/12	10/13～10/19	10/20～10/26	10/27～11/2	11/3～11/9	11/10～11/16
検査患者数	23	23	22	25	26	26	15
陽性患者数	15	11	12	15	19	18	10
A型インフルエンザウイルス				1			
AH1pdm09型インフルエンザウイルス							
AH3型インフルエンザウイルス			1	1	6	4	6
B型インフルエンザウイルス (ヒトリナ系統)							
新型コロナウイルス (SARS-CoV-2)	8	8	3	4	4	3	1
RSウイルス NT						3	
RSウイルス A型	1	1		2	2		
RSウイルス B型			2	3	1		
パラインフルエンザウイルス1型				1		2	
パラインフルエンザウイルス2型	2			2	1	2	1
パラインフルエンザウイルス3型			1				
パラインフルエンザウイルス4型			1		2	2	
ライノウイルス/エンテロウイルス					6	6	2
ライノウイルス	3	3	3	3			
エンテロウイルスNT	3		1	2	1		
エコーウイルス3型			1				
メタニューモウイルス			1				
アデノウイルスNT			2	1	1		
ヒトコロナウイルスHKU1							
ヒトコロナウイルスNL63							
ヒトコロナウイルス229E							
ヒトコロナウイルスOC43							

※ 1人の患者から複数のウイルスが検出された症例が複数あります。